



今夏、男子バスケットボール部が全国大会への出場を果たしました。1つ1つの試合を重ねながら、チームとしての成長を強く感じるようになりました。戦いを終えて流す涙、そして、あふれ出る汗。本当にカッコいい姿をたくさん見ることができました。歴史に残る戦いをありがとう。祝！男子バスケットボール部 全国大会出場！（校長）

発行所
岡崎市立葵中学校
(電話 21-0171)
(FAX 21-0172)

9月号



すごい14歳がいた。世界最貧国、アフリカ、マラウイに住むウイリアム・カムクワンバ君だ。
去る8月26日、伏見の映画館で「風をつかまえた少年」を鑑賞した。たった1人で風力発電を作ったウイリアム君を描いた実話の映画だ。私は、14歳の知の力、行動力に感心しながら、初めて満席の映画館を体験した。ストーリーはこうだ。
『2001年、大干ばつが村を襲い、家族は貧窮に陥った。授業料が払えず、学校を追われた。』
た彼は、図書室に忍び込む。そこで、「エネルギーの利用」という1冊の本に出合う。「電気さえあれば、井戸水をくみ上げ、穀物を育てることができる。」そう考えた彼は、独学で電気を起こす大風車をつくり上げ、村を救った。
当時、マラウイの電気普及率は、2%。今ではそれが10%にまで達している。彼はその功績を称えられ、2013年、米タイム誌の「世界を変える30人」に選ばれた。先日、東京を訪れた彼は、今、32歳になる。



映画を観て心を打たれたのは、学ば場所(学校)を失った彼が、学ばことをあきらめなかったこと。そして、その背景に、村を豊かにするという願いがあったことだ。
こんな振り返りがあった。
「本の中に描かれた風車の挿絵を見たとき、世界のどこかで他の人が作れたなら、同じ人間の自分にも作れるはずだと思った。1冊の本が自分に勇気をくれた」
簡単な話ではないが、「自ら学ぶ」とは、こういうことを言うのだろう。
今年4月、全国学力学習状況調査に、こんな調査項目があった。
「人の役に立つ人間になりたいと思うか。」
「難しいことでも失敗を恐れないで、挑戦しているか」

本校3年生はそれぞれ93%、66%が「そう思う」と答えた。この願いと挑戦する姿が、自ら学ぶ支えとなり、将来の自分や世の中を変える力にきつとなる。
2021年実施の新学習指導要領に、求める学力の1つとして、「学びに向かう力、人間性等」を涵養していくことが示された。偏差値では測れないこの学力。自ら学ぶ生徒も、自ら学ぶ大人も、ウイリアム君も、きつとこの力を身につけている。その先にある夢や希望や願いとともに。



二期の抱負

一年生代表 五組



私が二期に頑張りたいことは二つあります。

一つ目は、生活面で身の回りの整理整頓です。私の学級では、後ろのロッカーなどの整理整頓ができていないことがあるからです。みんなで生活する場をきれいに整えることは、周りの友達への思いやりの心だと思っています。自分のことではなくても、気付いたら整頓し合えるクラスの雰囲気を作っていきたいです。

二つ目は、行事です。体育大会や文化祭を通して学級や学年、全校の仲を深めることができるからです。「夢おどる」の練習では、先輩や先生から教えていただいた伝統を受け継ぎ、二五一人の動きをピシッと合わせられるように頑張りたいです。文化祭の合唱コンクールでは、初めてのことで上手くないこともあるかもしれませんが、ぶつかることもあるかもしれません。でも、そんな壁を、「志高く、お互いを思いやり、一人一人を大切に、みんなが笑っていられるクラス」という学級目標のもと、自分たちで乗り越えていきたいです。そして、苦手なことにも挑戦し、今よりもずっと成長し

ていけるよう努力します。

二年生代表 五組



二期、僕は特に頑張りたいことが二つあります。

一つ目は部活動です。僕が所属しているサッカー部でも、ついに自分たちが二年生がチームを引っ張っていくときが来ました。三年生の先輩方の代では、市長杯優勝、西三大会三位という記録を残し、葵中サッカー部の歴史を塗り替えました。僕たちのチームでは、先輩方の歴史をさらに塗り替える東海大会出場という目標を掲げています。この目標を達成するために、チームとして、まず先輩方の姿から学んだ「声」を大切にして、チーム力を高めていきたいです。最初の大会である新人戦で優勝をし、先輩を超えたいと思います。また、個人としては、毎回の試合で出た課題に真剣に向き合っ練習をし、確実に技術を高めていきたいです。

二つ目は学校行事です。まず、体育大会で披露する「伊達の黒船太鼓」です。昨年誕生した葵の新しい取り組みが伝統となるように練習を重ねています。夏休み最後の練習で、全体の音が一つの音に近づいているように感じました。僕はリズムを刻む竹として、身体を使って拍を取り、音がずれないよ

う自分の役割を果たしたいです。そして、本番では、学年全員の心を一つにしてすばらしい演奏を届けたいと思います。また、他の行事にも全力で取り組み、学級でよい思い出を作れるようにしていきたいです。

この二つのことを特に頑張りたいながら、学校生活の中心である勉強にもきちんと取り組み、部活動と両立させたいと思います。

中学校生活の折り返し地点となるこの二期を充実したものにしていきます。

三年生代表 五組



僕は、夏休みに最後の大会を終え、部活動を引退しました。全国大会に出場することはできませんでしたが、目標であった決勝トーナメントには届きませんでした。しかし、バスケット部で過ごした二年半は本当にいい思い出になりました。すばらしい仲間に出会えたことに感謝しています。

そして、二期が始まりました。二期には多くの行事があります。その中でも、体育大会の学年演技「葵の舞」は、僕たちにとっても大きな節目になると思います。僕は卒業を祝う会で「葵の舞」を踊り、伝統の重さと大切さを直接先輩から受け継ぎました。その中

で、伝統を受け継ぐという決意を全員がもってこそできる「葵の舞」だと知りました。今年には僕たちの番です。「葵の舞」を成功させるため、できることをしっかりとやり、一回一回の練習を全力で行いたいです。体育大会まで、伝統を受け継ぐとはどういうことなのか一人一人が考え、強い意志と最上学年としてのプライドをもち、全員が一丸となって僕たちの「葵の舞」を作り上げます。

また、たくさんの行事に一生懸命取り組み、楽しむ中でも、受験生という自覚を常にもっていきます。二期の終わりには、自分の進路を決定し、自分の志望校に届くように、勉強にもしっかり取り組み、受験に向けて備えていきたいです。

葵中ボランティアに参加して

緊張したけれど

一年二組

私は愛宕防災訓練にボランティアとして参加しました。もともと井田学区の私が愛宕学区のボランティアに参加したのでとても緊張したけれど、その中でも自分から積極的に手伝えることができました。

そして活動が終わった後に愛宕学区の方に「助かったよ」と言われ、とてもうれしかったです。これからたく

(3)



さんのボランティアに参加していろいろな人のお手伝いをしたいです。

ボランティアに参加して

二年七組

僕は、愛宕小学区七夕祭のボランティアに参加しました。朝、愛宕小学校に集合しテントの設営をし、机やいすの準備を手伝いました。裏方の仕事を通して、学区の方々が毎年このように準備をしてくれているおかげで、楽しい七夕祭ができているのだとわかりました。七夕祭の最後に「おかげで例年の半分の時間で準備が終わりでした、ありがとう」と言ってくれ、とてもうれしかったです。

ボランティアの報酬

三年三組

報酬の発生しないボランティアに参加する意味を理解していなかった僕は、友達に誘われて井田夏祭りのボランティアに参加しました。暑い中、屋外で掃除をしたり重い荷物を運んだりするのは、やはり大変でした。しかし、作業を終えて周りの方からお礼を言われ、感謝されたとき、それがボランティアの何よりの報酬であると感じることができました。今後も、機会があれば積極的にボランティアに参加していきたいと思えます。



熱い雰囲気

一年六組

「飛ばせ！飛光輝！」一年生の合言葉です。夏休みから「夢おどる」の練習に励んできました。そして前日、僕たちは体育大会への一年生全員
の思いを書いた紙「飛光輝」を飛ばし、みんなの気持ちを一つにしました。当日、「夢おどる」を全力で踊り切りました。最後のポーズのとき、達成感とともに終わるさみしさもありました。でも、心から楽しく、すばらしい「夢おどる」になりました。

学年の心が一つになった黒船太鼓

二年四組

体育大会で黒船太鼓をやると聞いたとき、嬉しかったです。僕は、太鼓が好きなのと、昨年、先輩方がやっている姿を見て、カッコいいと思ったからです。学年全体の練習では、



なかなか息が合わなくて、バラバラでした。しかし、被災された方の思いを知ってから、みんなの気持ちが変わり、音と心が一つになっていきました。本番、少しずれてしまった部分もありましたが、一人一人が思いを込め、一生懸命に演奏することができました。

魅せた完全優勝

三年六組

僕は今年の体育大会が三年間でいちばん楽しかったです。その大きな要因はやはりクラスの団結力だと思えます。

小物の制作に多くの子が参加したり、友達の種目の応援をみんなでしたりと、雰囲気がとてもよかったです。リレーで四冠ができたときもクラス全員で喜び合うことができました。今まであまり好きでなかった体育大会が好きな行事に変わりました。この団結力を文化祭でも発揮していきたいです。

令和初の体育大会

開発三年

毎年受け継がれてきた「葵の舞」を絶対に成功させたいと思い、夏休みから練習を頑張ってきた。いざ本番が始まると「絶対に最高の踊りをしてみせる！」という思い



《体育大会結果一覧》

3年	2年	1年	生徒会種目 応援旗	3年			2年			1年			競技
				女子	男子	総合	女子	男子	総合	女子	男子	総合	
2組	2組	5組	優勝	6組	6組	6組	4組	6組	4組	1組	5組	7組	優勝
1組	6組	4組	2位	1組	3組	1組	7組	4組	7組	7組	3組	3組	2位
4組	5組	1組	3位			3組						1組	3位

が強くなった。声もしっかり出せて、タイミングも合わせる事ができた。演技を終える時とすると同時に、少し悲しくなった。三年生全員で踊るのは、これが最後だからだ。残りの行事も一つ一つ大切にしていきたい。

大会新記録

三年女子ハンドボール投げ
二年男子一五〇〇m
三年男子一五〇〇m
一年男子一〇〇m
(三組) 四分二七秒〇
(五組) 一二秒五

夏の大会を終えて

いつも支えられて

バスケット部男子



全国大会出場。入部当初からの揺るがない目標でした。それに見合う練習量と努力。それを大きく支えていた仲間との繋がりや親の温かさや先生方の厳しい指導。そして、昨年の先輩たちの思いどろが欠けても全国出場は達成できなかったと思います。全国大会、温かい声援を送って下さった先生方、親、最高の舞台で試合を行うことができました。本当にありがとうございます。

表彰の記録



バスケットボール部男子	優勝
市長杯	優勝
西三大会	優勝
県大会	優勝
東海大会	二位
全国大会出場	
バスケットボール部女子	三位
市長杯	三位
西三大会	二位
西三大会 総合	二位
【リレー】	
西三大会	三位
県大会	六位

東海大会	一位	七位
【個人】		
西三大会	一〇〇m平	三位
県大会	二〇〇m平	三位
東海大会	一〇〇m平	五位
水泳部女子	二〇〇m平	六位
西三大会	一〇〇m平	四位
【個人】		
西三大会	総合	五位
西三大会	一〇〇m自	三位
県大会	二〇〇m自	二位
東海大会	二〇〇m自	四位
陸上部	二〇〇m自	八位
通信陸上	三〇〇〇m	四位
通信陸上	一〇〇〇m	六位
県大会	一〇〇〇m	七位
市長杯	一五〇〇m	三位
サッカー部		
市長杯	優勝	三位
西三大会	優勝	三位
ハンドボール部		
市長杯	優勝	二位
剣道部		
市長杯	男子団体	優勝
【個人】		
市長杯	個人	二位
市総合剣道大会	男子団体	優勝
女子団体	女子団体	三位

柔道部	七位	
西三大会	個人	三位
吹奏楽部		
吹奏楽コンクール西三地区大会	銀賞	三位
市中学生の主張コンクール		
(三年)	優秀賞	
市英語スピーチフェスティバル		
(三年)	優秀賞	
(二年)	優良賞	
(一年)	優良賞	

十月の予定

一日(火)	中間テスト範囲発表
二日(水)	キッズデイズ(秋休み)
三日(木)	新人戦(野球・ソフト・テニス・卓球・サッカー)キッズデイズ(秋休み)
四日(金)	新人戦(バレー・バスケット・柔道)
七日(月)	キッズデイズ(秋休み)
八日(火)	全校集会・後期委員会
九日(水)	部活動休止(〜一日)
十日(木)	中間テスト(〜一日)
十一日(金)	伊賀川プロジェクト(二年)
十二日(土)	いじめアンケート
十三日(日)	理科・技術・家庭科作品展
十四日(月)	市民体育祭
十五日(火)	後期生徒議会
十六日(水)	私立高校説明会(三年)
十七日(木)	おかざき子展(〜二〇日)
十八日(金)	生徒集会・前期総会
十九日(土)	即位礼正殿の儀
二十日(日)	合唱コンクールリハーサル
二十一日(月)	ひまわりプロジェクト
二十二日(火)	全校集会

葵が丘

大きく成長する今

教務主任 山口 裕嗣



焼けつく真夏の日差しを受け、力泳、力走、力闘した市長杯、西三・県・東海・全国大会。その余韻を残して、いつもより早い二学期が始まった。

二学期は、生徒が活躍する行事が目白押しである。まずは体育大会。昨年は雨が続く、日替わりで時間割を変えて生徒にも先生方にも迷惑をかけた。今年は夏休み前から授業時間と各学年の練習時間のバランスを考え、天候に左右されないことを願った三週間であった。

今年、演技三部作はもちろん、新たに加わった生徒発表案の「長縄・青春・ジャンプ」もあり、力感あふれる葵中生の演技を見よう。昨年以上の観客が集まった。応援が多ければ誰でもやる気が増すのだ。魅せる演技を体現した瞬間だった。

十一月の文化祭。学級の勢いを感じられる合唱コンクールは、感動を与えてくれる。これからの音楽の時間は、合唱練習が続くだろう。特に期待したいのは午後の部だ。生徒がつくる「生徒会ステージ」には、どんな企画が飛び出るのか、今からワクワクする。とにかく思いっきり楽しむ方がいい。葵中生が最高の思い出をつくる。

体育大会と文化祭の間には、新人戦がある。この夏、葵中躍進の突破口を開いた三年生の後を追って、一・二年生がどんな活躍を見せてくれるのか。これも楽しみだ。また葵中と戦いたいのと言われる気持ちのよい試合をしてほしい。「勝ち」はその後に付いてくる。

そして、師走を迎える頃、三年生は自らの進路に向けて全力疾走の日々になる。二学期は、たくさんある成長するチャンス。自ら掴みに行ってもらいたい。